

指定管理導入施設実績評価シート（平成26年度）

施設所管課	都市計画部 公園緑地課
--------------	-------------

施設名	大津湖岸なぎさ公園ヴェルツブルクハウス
指定管理者	株式会社シープラッツ・株式会社高橋エーベン共同事業体
指定期間	平成26年4月1日 ～ 平成31年3月31日
指定管理料	年額 - 円 (総額 - 円)
設置目的	ヴェルツブルクハウスは、ドイツ南部、フランケン地方の伝統的民家の意匠そのままの木造建築物であり、姉妹都市であるヴェルツブルク市の協力により、ドイツの食文化をはじめ、ヴェルツブルク市の歴史、文化の紹介、交流を目的として建てられたもの。
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴェルツブルクハウスを利用に供する業務 ・ヴェルツブルクハウスの施設の維持管理に関する業務

主な成果 <small>(自主事業含む)</small>	自主事業収入	目標	88,500 千円(税抜)	⇒	実績	84,937 千円(税抜)
	稼働率	目標	-	⇒	実績	-
	利用者数	目標	-	⇒	実績	31,070 人
	【主な自主事業実施による成果】					
ドイツレストランを営業しながら、定期的にドイツにちなんだイベント(オクトーバーフェスト、マルクトイベント など)を開催し、ドイツ文化や料理の紹介に努めた。						

総合評価	I～IVによる総合評価	総合評価コメント				
	A	国際親善協会や日独協会と協力しながら、施設内で食に関するイベントを開催し、ドイツ文化の発信に努めている。また、平成27年2月には、レストランスタッフがヴェルツブルク市を表敬訪問し、日本文化の紹介とドイツ料理の習得に努めるなど、国際交流を深めている。				

評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	所管課評価
I 実施体制	ドイツ文化の発信	施設を設置目的であるドイツ文化の発信を十分に理解し、それを踏まえた運営に努めていたか。 施設を設置目的に沿った自主事業を実施していたか。	A	A
	国際交流の推進・姉妹都市との友好関係への貢献	施設を設置目的である国際交流の拠点とした施設の運営に努めていたか。 同じ趣旨をもつ関係機関との連携はとれていたか。 大津市と姉妹都市ヴェルツブルク市との友好の架け橋となるような貢献ができていたか。	A	A
	職員の勤務実績・配置状況・労働条件・研修	事業計画書に沿った職員を配置していたか。 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育を実施していたか。	B	B
	法令等遵守	関係法令、条例等を遵守していたか。 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	A	A
	管理体制・緊急時対応	業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。 事故・災害等の緊急時の連絡体制を確保していたか。 緊急時のマニュアルを整備し、定期的に訓練等を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	A	A
《I 総括》 業務の実施体制に関する評価【標準8項目／当施設5項目】			A	A

指定管理導入施設実績評価シート（平成26年度）

評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	所管課評価
II 内容・水準 事業運営 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 自主事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。 開館日、開館時間を遵守していたか。 利用者数、稼働率等が前年度の実績や目標と比較し適正な水準であったか。 利用促進に向け、積極的に取り組んでいたか。	事業計画書、事業報告書、自主事業計画書、実地調査	B	A
施設維持管理 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。 施設、設備の保守管理(点検・修繕)を計画的に実施していたか。 修繕が必要な箇所について、適切に対応していたか。 日常の清掃、保安、警備は適切に実施していたか。 備品台帳に基づき備品を管理していたか。 植栽、樹木等の維持管理を定期的に行い、美観が保たれていたか。	事業計画書、日報、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	A	A
情報発信 国際交流の拠点としての施設の情報について、パンフレット・ホームページ等を用いた効果的な発信に努めていたか。 それに伴うレストラン事業においても、効果的な情報発信に努めていたか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	A	A
環境配慮 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B	B
意見・要望・苦情 利用者アンケート調査等を実施し、意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立していたか。また結果を反映する仕組みを確立していたか。 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	A	A
《II 総括》 業務の内容・水準に関する評価【標準9項目／当施設5項目】		A	A
III 収支等 経理事務 適切に経理事務を行っていたか。	出納帳、実地調査	A	A
収支状況 収支状況が対前年度及び当初の目標に照らし、妥当な水準であったか。	事業計画書、事業報告書	B	B
《III 総括》 経費の収支等に関する評価【標準3項目／当施設2項目】		B	B
IV その他			
《IV 総括》 その他に関する評価【当施設 項目】			

特記事項等 (課題・成果)	【指定管理者】 消費税増税については、計画的な営業活動、広報宣伝により、大きなマイナスにはならなかった。 建物及び付帯設備の老朽化に対し、トイレのドアや窓の修繕、冷蔵庫等の備品を新調した。建物の外壁や木組みの部分的な腐食が懸念される。
	【施設所管課】 平成27年2月、屋根を洗浄したことで、建設当時の鮮やかな色合いが蘇った。

※評価基準：項目別評価、《総括》、総合評価の評価基準(A～D)は、モニタリングチェックシートと同様とする。

※評価手順

指定管理者自己評価

➡

所管課評価

➡

指定管理者

➡

行政改革推進課(ホームページ等により結果公表)

送付